

会員100万人達成に向けた道筋

シルバー人材センター・シルバー人材センター連合本部・全国シルバー人材センター事業協会が実施する会員100万人達成に向けた取組

● 入会者の増加及び退会者の減少に向けた取組

さまざまな工夫や取組によって会員数が大幅に増加したセンターの事例を参考に、入会される方を増やすとともに、退会される方の減少に取り組めます。



● 職員、役員、会員が一体となった取組

シルバー人材センターのすべての職員及び役員、そして会員の皆様が一体となった会員拡大に取り組めます。



● イメージの転換と広報

シルバー人材センターが魅力的で、会員の皆様が会員であることを誇れるように、あらゆるマスメディアを活用して広報活動を積極的に展開します。



● PDCAサイクルによる的確な目標管理の徹底

計画期間中の各年度の目標会員数及び重点実施事項の進捗状況について、四半期ごとに問題点の洗い出しや分析を行い、計画の修正等を通じて目標の達成を目指します。



会員100万人を達成するためには、皆様のお力が必要です。
一緒に活躍する仲間を増やしましょう。

● 会員による「1人1会員入会」の取組

● 配偶者や友人・知人の勧誘

● 会員紹介キャンペーンの実施等



公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-22 東陽プラザビル3F TEL.03-5665-8011



会員の皆様へ

一緒に活躍する仲間を増やして 会員100万人を目指そう

平成30年度～36年度：会員100万人達成計画

目指す姿

地域のニーズに応えることで、
地域で頼りにされる存在になる

仕事を通して人の喜ぶ顔が見え、
会員が誇りを持てる

自分にあった仕事で、経験を活かし、
能力を発揮することができる

働くことで社会とつながり、
仲間ができて、健康でいられる



シルバー人材センター・シルバー人材センター連合本部
全国シルバー人材センター事業協会

超高齢社会を担うシルバー人材センターの会員



日本の高齢化の現状及び今後の見通し

[資料 総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」]

9,000万人を割り込む総人口

日本の総人口は平成29年11月現在1億2,671万人ですが、長期の人口減少過程に入っており、平成65年には1億人を割り、平成77年には8,808万人になると推計されています。

約2.6人に1人が65歳以上の高齢者に

高齢化率（65歳以上の人口が総人口に占める割合）は平成29年11月現在27.8%ですが、平成48年に33.3%で3人に1人となり、平成77年には38.4%と約2.6人に1人が65歳以上の高齢者になると推計されています。

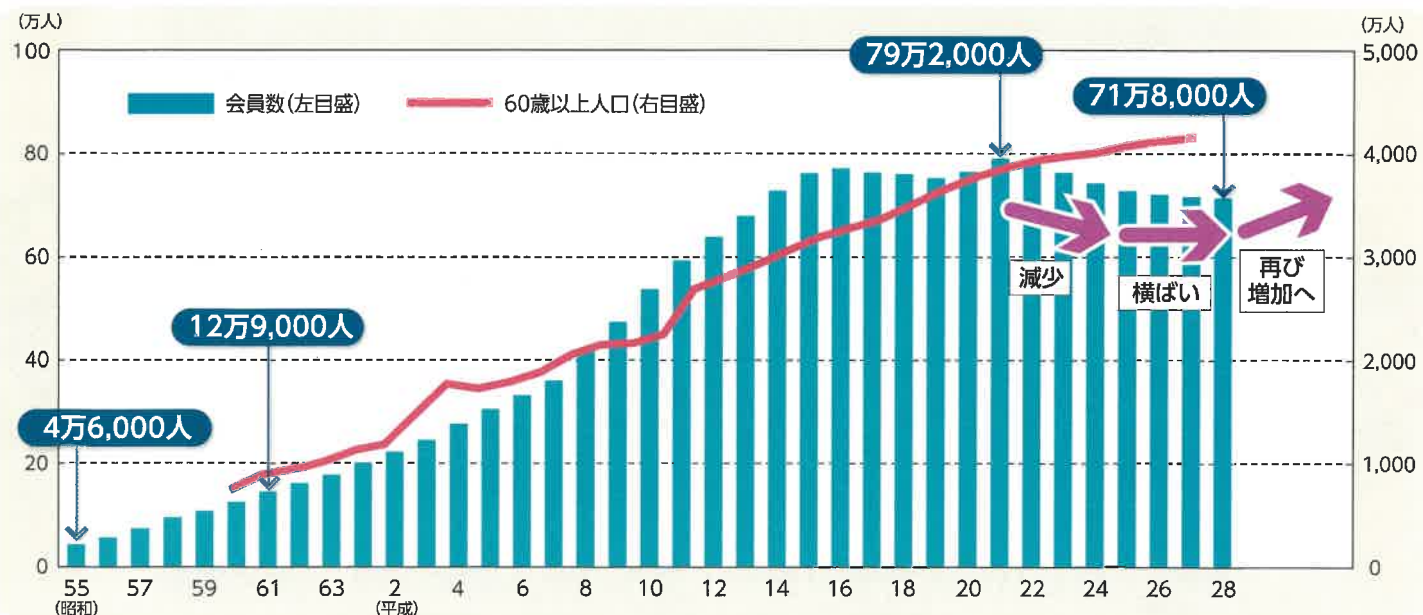
1.3人の現役世代で1人の高齢者を支える

65歳以上の高齢者人口と現役世代（15～64歳）人口の比率は、昭和25年に1人の高齢者に対して12.1人の現役世代がいたのに対し、平成28年には2.2人となり、平成77年には1.3人と、1人の高齢者を1.3人の現役世代が支えると推計されています。



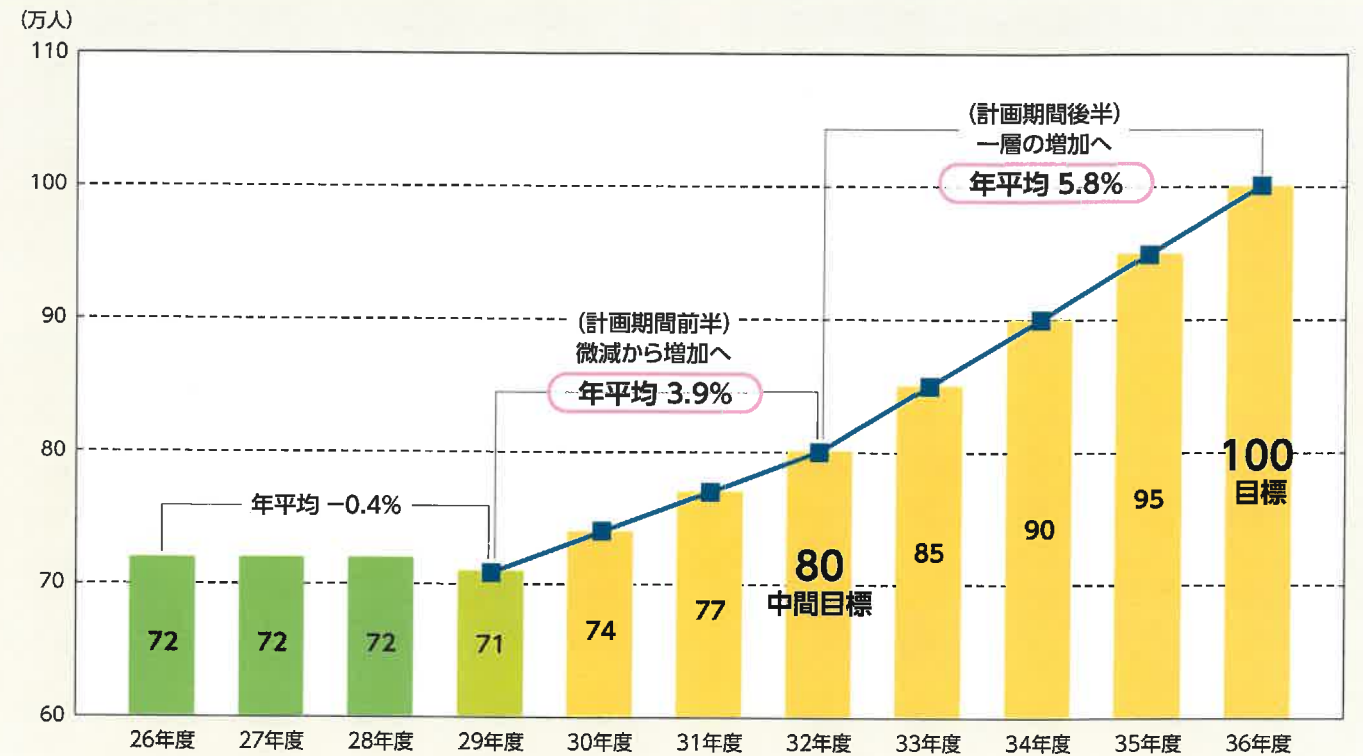
シルバー人材センターの会員数は、約72万人

- シルバー人材センターの会員数は、国庫補助が開始された昭和55年に4万6,000人、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が施行された昭和61年に12万9,000人と年々増加してきましたが、65歳までの雇用義務化などもあって、平成21年度の79万2,000人をピークに減少に転じ、平成26年度以降は横ばいとなっています。
- 会員数を男女別にみると、**男性約48万人**、**女性約24万人**となっています（平成28年度）。女性会員のさらなる拡大が期待されます。



(注)「60歳以上人口」は、センターが管轄する市区町村人口中の60歳以上人口で、昭和60年度から集計

目標は……………平成36年度 100万人
中間目標は……平成32年度 80万人



それぞれのセンター・連合本部が
平成32年度まで毎年3.9%、3年間で1割強の増加

全国総計で80万人

80万人達成で勢いをつけて
平成33年度から36年度まで毎年5.8%の増加

100万人の達成